

大阪府・大阪市 SDGs未来都市計画



2020年12月18日
大阪府・大阪市

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



O s a k a S D G s ビジジョン





2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博)

- ◆ **テーマ**：いのち輝く未来社会のデザイン
“Designing Future Society for Our Lives”
- ◆ **開催期間**：2025年4/13～10/13（184日間）
- ◆ **開催場所**：夢洲（大阪市臨海部）
- ◆ **入場者（想定）**：約2,800万人
- ◆ **経済効果**：約2兆円



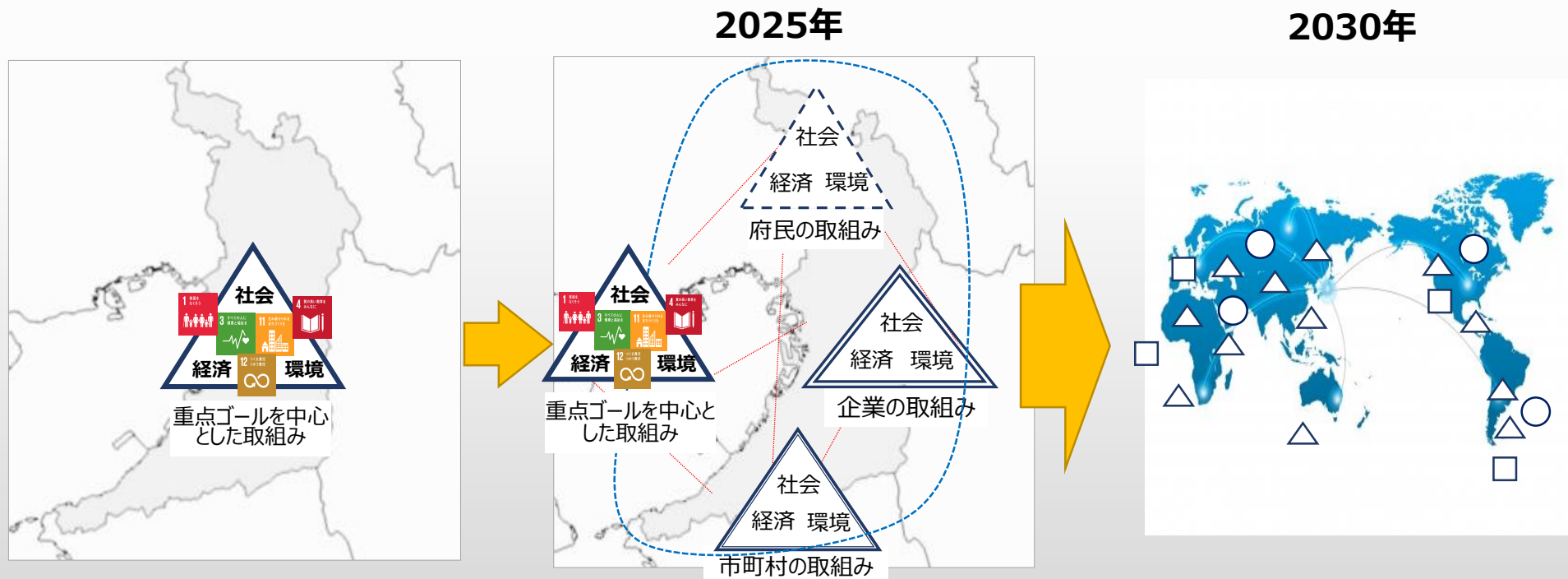
出典：経済産業省パンフレット



SDGs 先進都市に向けて

SDGs先進都市 ⇒ 世界の先頭に立ってSDGsの達成に貢献

誰もがSDGsを意識し、一人ひとりが自律的にSDGsの達成をめざす大阪を実現



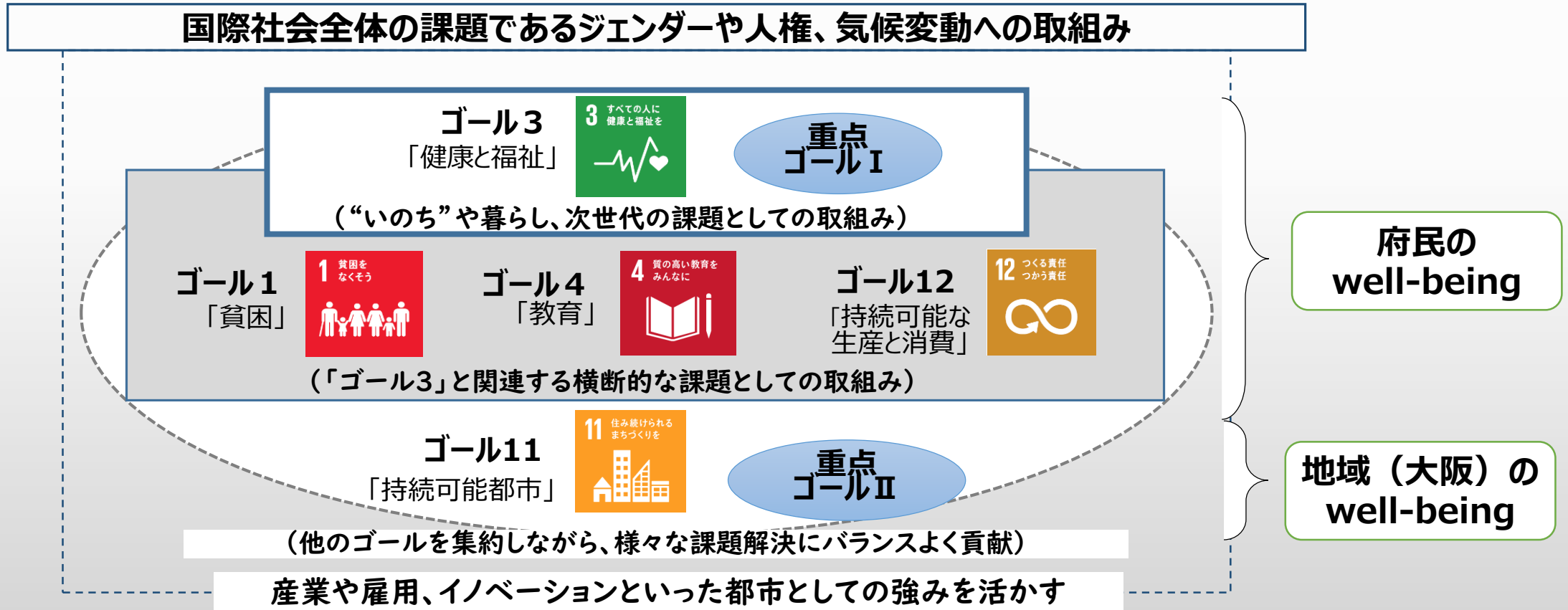
万博において、大阪のあらゆるステークホルダーが、会場の内外でSDGsを体現し、行動する姿を世界に発信

日本全体や世界とのつながりの中で、先頭に立って、世界とともにSDGsを達成する



重点ゴール

◆2025年大阪・関西万博に向けて取り組む「重点ゴール」



SDGs 未来都市

～2025年大阪・関西万博をインパクトとした「SDGs先進都市」の実現に向けて～





2030年のあるべき姿

①いのち輝く幸せな暮らし（Human Well-being）

- ・健康や福祉など、人々の命や暮らしに関わる様々な社会課題の解決に向けた行動を、未来社会に向け呼びかけていくことが求められる。
- ・こうした考え方のもと、**誰もが取り残されることなく**、すべての命が大切にされ、人と人とのつながりの中で、全ての人が生涯にわたって、自らの能力や可能性を発揮し、**健康でいきいきと活躍できる社会の実現をめざしていく**。

②多様なチャレンジによる成長（Diverse Innovation）

- ・ライフサイエンスやものづくりなど強みとなる産業の成長とバランスの取れた産業構造が安定した大阪経済の成長の土台となっており、近年は、輸出額の増加やインバウンドの増勢に伴い経済は回復傾向にある。
- ・こうしたポテンシャルを活かし、都市の魅力や寛容性を高め、**多様な人材を呼び**、様々なことにチャレンジできる環境を整え、**新たな価値観やイノベーションの創出を図るとともに、地球環境を守る取組みを進める**ことで、**持続的な成長に向けた取組みを推進していく**。

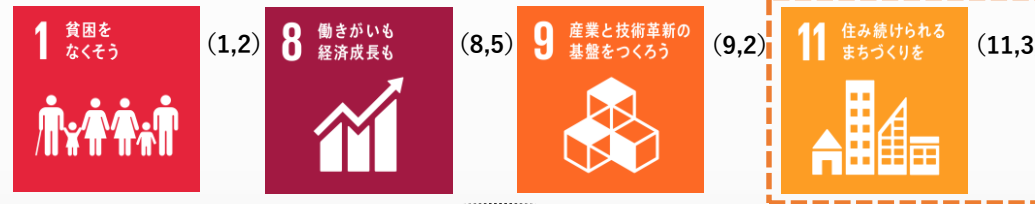
③世界の未来をともにつくる（Global Co-Creation Hub）

- ・世界では、地球規模での環境問題のほか貧困などの追加的課題が進行。また、科学技術の急速な発展は、社会課題を解決する重要なカギとなる反面、不平等や格差の拡大など負の側面を招く恐れがある。
- ・世界各地の叡智が集まり、世界のベクトルを一つにできる万博開催都市として、誰もが世界とつながり、SDGsの価値観が大阪から世界に広がり、人々に共有され、「**ひとを救い、地球を守る**」、**ソーシャルグッドな取組みを推進していく**。



2030年のあるべき姿と優先ゴール

17のSDGs全ての達成をめざす中で、とりわけ、課題を克服すべきゴールや世界に貢献できるゴール（※重点ゴール）に注力
※OSAKA SDGs ビジョンにおける重点ゴール（ゴール3：健康と福祉、ゴール11：持続可能都市）



経済

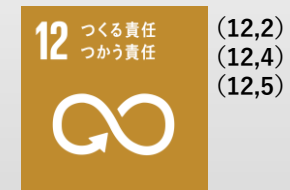
- ・都市の強みを活かしながら勤労世帯の家計所得を底上げ
- ・社会課題の解決や生活の質の向上など、スマートシティ化

社会

- ・生涯を通じ健康で、自らの意思に基づき活動できる社会
- ・持続可能な社会の創り手としての子どもたちの学力向上

環境

- ・2050年のCO2排出量実質ゼロをめざす
- ・「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の早期達成に貢献





自治体SDGsの推進に資する取組

1 おおさかええまちプロジェクト

高齢者の介護予防にもつなげる活躍の場を、プロボノによる直接的支援等を通じた住民主体の支え合いにより構築し、生涯を通じ健康でいきいきと暮らし続けることのできる社会の実現をめざす

2 健康寿命の延伸

10の健康づくり活動「健活10」を活用した健康づくりや、電子マネーが当たる「おおさか健活マイレージ“アスマイル”」の展開などオール大阪での健康づくりの機運醸成と社会環境整備を推進していく

3 子どもの貧困対策

子どもの将来が生まれ育った環境で左右されることのないよう、子どもの居場所や企業、社会福祉施設等のネットワークの運営で、企業等から物資提供の支援を受ける仕組みづくり等に取り組む

4 府立学校等のスマートスクール化に向けた取組

教育の質の向上を図るため、知的障がい者支援学校におけるVRを活用したソーシャルスキルトレーニングや、学習履歴や出欠・生活指導状況の可視化など、スマートスクールモデルを確立

5 海洋プラスチックや気候変動の問題解決に向けた環境技術イノベーションの戦略的な促進と普及に向けた取組

化石燃料に依存しないプラスチック等の循環利用技術など、環境先進技術シーズ調査や、効率的な空調システム実用化など、環境技術のイノベーションの戦略的促進と普及を図る

6 食品ロス削減対策の推進

様々な食文化を有する大阪から、持続可能な食の消費のあり方を確立するため、食品ロスの発生動向の調査や食品ロス削減に向けた機運醸成、食べ残しゼロの推進に向けた事業者との連携など、食品ロスの削減に向けた取組みを推進していく



情報発信

大阪府域

- ① 公民連携による民間事業を通じた情報発信
- ② 民間の集客施設や集客イベントの実施を通じた情報発信
- ③ 府民や企業との対話を通じた情報発信

国内

- ① 「関西SDGsプラットフォーム」を通じた情報発信
- ② 「ローカルSDGsプラット」を通じた情報発信
- ③ 国内個別自治体からの視察や問合せを通じた情報発信

海外

- ① 2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組みを通じた情報発信
- ② JETRO大阪本部との連携を通じた情報発信
- ③ 大阪商工会議所との連携を通じた情報発信
- ④ IGESのプラットフォームを通じた情報発信
- ⑤ 国連環境計画国際環境技術センター（UNEP-IETC）との連携を通じた情報発信
- ⑥ 認定NPO法人ETICの海外起業家／有識者ネットワークと連携した情報発信